

# 有限会社港寿司本店

◎飲食店



## まちの繁栄とともに自店の繁栄がある 老舗店主の役割を果たす

新潟市古町にある創業83年の老舗、港すし。新潟近海でとれる新鮮な魚介類を使った料理は地元客にも観光客にも人気だ。代表取締役の川上さんは自店の経営だけでなく、まち全体の活性化に積極的に取り組んでいる。地元の将来を見据えて動く姿はまさに老舗の旦那さん。他店の若い経営者を後押しし、合同イベントで飲食街を牽引するその視線の先には、まちとともに生きる港すしの姿がある。

### 堀端の屋台が原点 創業83年の老舗がつくる居心地の良い空間

JR新潟駅の駅前大通りから信濃川を渡ったその先に、古町と呼ばれる繁華街がある。港すしはここで1933年から続く老舗の寿司店であり、川上さんは三代目の店主だ。「新潟は江戸時代にできた港町で、堀割（ほりわり・地面を掘って作られた水路）がたくさん作られました。その堀端で祖父が始めた屋台がうちの原点です」

### 職人が直にブログで情報発信、 客層の拡大やリピート率の向上を図る

川上さんは「老舗であっても、時流に乗ることは重要」と言う。港すしはホームページやブログによる情報発信にも力を入れており、ほぼ毎日、その日その日の新鮮な素材の魅力を職人自らがブログで紹介している。仕入れたばかり

川上さんは25歳の時から父のもとで修業し、15年前に代表取締役になった。現在の店舗は2004年に改築したもので、1階がカウンター、2階はテーブルと座敷があり、少人数から20名の宴会まで対応している。従業員は正社員の職人男性8名と、パートの女性7名だ。来店客への対応は店長をはじめとして行き届いており、常連客から初めての観光客まで、居心地の良い接客への評判は高い。

の新鮮な魚などの食材をそのまま職人が手に持って見せる画像と、その食材の調理後（例えばにぎり寿司）の画像をあわせて掲載する。一見、地味なPR活動にみえるが、その日々の積み重ねは客層を広げること、そして常連客のリピート率を向上させることに確実につながっているようだ。2015年4月からはFacebookも開設し、情報発信の幅を広げている。

## 自身の店だけでなく、まちづくりにも注力

老舗の寿司店の経営者でありながら、川上さんは「NPO堀割再生まちづくり新潟」の理事長も務めている。この活動は2000年に始まった古町商店街の活性化勉強会に端を発したものであるが、現在では自治体とも連携して、「堀」をキーワードにした新潟のまちづくりに取り組んでいる。

信濃川の河口一帯に広がるこの地域には、古くから川からまちへ荷物を引き入れるための堀



割が張り巡らされており、まさに水の都として繁栄してきた歴史があるからだ。「私にとっては、本業もNPOも、どちらもこのまちを盛り上げるための大事な仕事です」。

堀端が原点の老舗店主の心意気が、まち再生の原動力になっている。

## 飲食店街の活性化があってこそ、自店の将来も広がる

川上さんは、飲食店が合同で取り組むイベントの企画や運営にも積極的に携わる。古町はここ数年、百貨店が撤退するなど、新しいビルが立ち並ぶ駅前 비해、その勢いは衰えている。しかし、かつて古町は港町新潟の花街として栄え、現在でも花柳界があり、昭和の風情ある建物も残っている。川上さんは、古町の魅力を発信するために始められた「古町花街ぶらり酒」というイベントに参画し、現在は、観光客にゆっくり地元の味を楽しんでもらうフードツアーの企画にも携わっている。「すでにトライアル

ツアーを開催し、30名を3コースに分けてそれぞれが2件ずつ、趣の異なる店での食事を楽しんでもらいました。イタリアンとそば屋、寿司屋と焼鳥屋など、そのお店ならではの食と酒のマッチングを楽しんでもらうというのが、このイベントの趣向です」と川上さん。このような取り組みを運営するNPOを立ち上げる計画もあるという。

また、古町の飲食店も高齢化する一方で、30代の若い店主も生まれている。彼らとともに古町を盛り上げ、飲食店街全体が盛り上がる状況が生まれることこそ、老舗・港すしを次代につなぐことになると川上さんは考えている。

## 堀端の屋台出店などで新たな顧客ニーズも

「うちの店も新陳代謝が必要です。私も職人たちも60代に入りますが、彼らと共に活躍できる次の場を作りたいのです」と話す川上さんの近い将来の夢は、屋台の寿司屋を作ること。堀割が復活した横で、一線を退いた職人たちと

日替わりで寿司を握るのだ。「飲食店街に人が集まりながらも、それ以外にも新しい屋台ができたらかお客様はもっともっと楽しめるはず。さらに客層も広がるのではないかと川上さんは楽しそうに語る。まちの繁栄が自店の繁栄にもつながる。川上さんの広い視野に立った活動や連携が、将来の港すしの礎になる。

### ● Profile

## 有限会社港寿司本店

代表取締役 川上 伸一（かわかみ しんいち）

所在地 新潟県新潟市中央区古町通九番町1454番地

創業 1933年

従業員数 15人（うちパート・アルバイト7人）



代表取締役 川上 伸一さん

まちを盛り上げることが  
本業の礎を築くことにつながる

インバウンド対応

女性活躍

少子・高齢化対応

ICTの活用

従業員定着・育成

新商品・新サービスの開発

地域等連携